

令和6年度 世田谷区立芦花中学校 学校関係者評価 報告書

I 重点目標の成果と課題

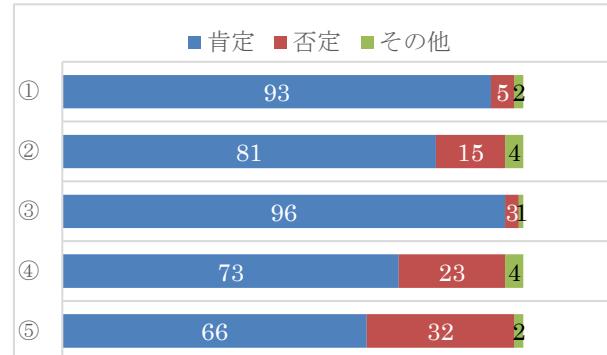
《 重 点 目 標 》

- 問題の解決に向けて、自ら学びへの意欲をもち、計画的に追究し、筋道を立て考え、表現する力を育成する。
- 向上心をもって、主体的に取り組み、自己肯定感、自己有用感を高めるとともに、自他を尊重し互いに認め合いながら、人間関係を形成する力を育成する。
- 健全な生活習慣を身に付け、健康で安全に生活するとともに、創意工夫しながら、ものごとを最後までやり抜く力を育成する。

1 「学びへの意欲、表現力の育成」について

関連する評価項目(生徒評価)

①	先生は、映像やタブレットなどのICTを利用し、分かりやすい授業をしている。
②	あなたは、話合い等で自分の考えを自分の言葉できちんと伝えることができていますか。
③	授業では考えたり話合ったり、発表しあったりする機会がある。
④	あなたは、学習面での課題について、自ら計画的に追求したり、筋道を立てて考えたりして解決していますか。
⑤	私は、家庭で宿題やeラーニングなどで学習をしている。



質問①～③の結果から、本校での学習指導において、授業におけるICT機器の活用や考えを深める活動及び、対話的な活動が昨年度に比べ、より活発に行われていることがわかります。これは学習指導要領の施行に伴った、先生方の授業改善が充実期を迎えており、ツールの1つとして普段から積極的に活用されていることの表れであると捉えることができます。質問④⑤は生徒の学習への取り組みに向かう姿勢を表しています。自身の学習への取組については肯定的な評価はそれほど高くありません。特に、④については、昨年度に比べ、6%、否定的な回答が増えており、自ら学ぼうとする姿勢の育成、計画的な家庭学習への取り組ませ方や工夫が今後の課題となります。生徒が自主的に家庭での学習習慣をつけられるような取り組みを期待しています。

2 「生徒の自立や自分らしさづくり、他を思いやることなど」について

関連する評価項目(生徒評価)

①	私は、学校での過ごし方やルールについて考えて行動している。
②	あなたは、自他を尊重し互いに認め合いながら、人間関係を築いていますか。
③	あなたは、自分がみんなの役に立っていると実感したことがありますか。

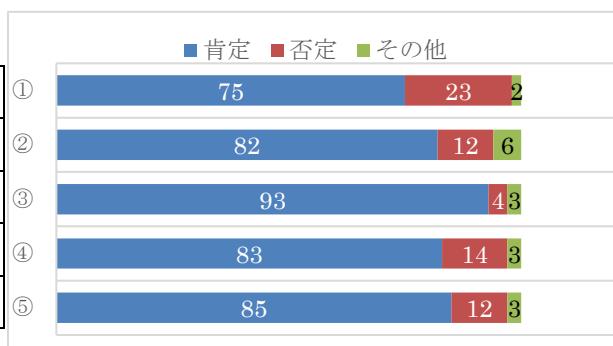


質問①から生徒たちは学校生活について、過ごし方やルールについてしっかりとと考えられていることがわかります。昨年度微減とはいえ、9割以上の生徒が考えて行動しているという結果は大変良い傾向であり、落ち着いた学校生活を過ごすことができていることがうかがえます。また、8割以上の生徒が、友人との関係性について良好な関わりをもとうとしていることも望ましい結果です。一方、自分が他の役に立っているかという点での肯定的評価が、昨年度に比べて7%減少しています。自己肯定感、自己有用感を育むような取組や先生方の指導、また、家庭や地域でも自尊感情を高められるよう、働きかけをお願いいたします。

3 「健康で安全な生活と最後までやり抜く力」について

関連する評価項目(生徒評価)

①	あなたは、規則正しい生活習慣を身に付け、健康で安全に生活をしていますか。
②	私は、体力の向上や健康な生活に取り組んでいる。
③	学校行事は、達成感がある。
④	学校生活は、達成感がある。
⑤	部活動は、達成感がある。



新型コロナの感染症対策も過去のものとなり、通常の教育活動を完全に取り戻すことができました。行事等の運営に関しても以前と同様の形式で行われており、生徒の体力向上の機会や行事への取り組みが充実しています。特に行事における達成感は非常に高い数値となり、その教育的効果の高さ、有用性を表しています。質問②から質問⑤の肯定的な評価は8割を超えており、一方で、規則正しい生活習慣、健康的な生活に関する評価は、昨年度に比べて9%減少しており、注視する必要があります。正しい生活習慣は、学校生活だけで身につくものではなく、各家庭との連携が鍵となります。スマートフォンやタブレットPCの長時間使用の抑止など、家庭と協力した対策に期待いたします。

II 学校関係者等評価アンケート結果について

各項目について、項目内で△肯定的評価(A, B)の高かった項目、▼否定的評価(C, D)の高かった項目を示しました。

〈学習指導について〉

		割合	質問項目
△肯定的評価の多かった項目	生徒	96.1	授業では、考えたことを話し合ったり、発表しあったりする機会がある
	保護者	68.8	本校では、考えたことを話し合ったり、発表しあったりする機会がある。
▼否定的評価の多かった項目	生徒	9.2	先生は、提出物やテストなどを分かりやすく評価している。
	保護者	15.2	本校は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している。

授業において、先生方による一方通行の授業ではなく、「主体的、対話的で深い学び」が定着し、学びあいで進めていく学習指導について生徒が肯定的に捉えていることがわかります。一方、保護者については、否定的な評価が11.3%増加しています。授業での取り組みをホームページ等で積極的に発信していくことで、生徒との認識の隔離を縮めていくことを期待します。引き続きご指導をお願いいたします。提出物やテストの評価の仕方、板書やプリントの内容や表記を分かりやすいものにしていくことに関しては、今後検討の余地があるようです。各教科において、引き続き生徒一人ひとりの学習状況を踏まながら、授業改善に取り組んでください。

〈生活指導について〉

		割合(%)	質問項目
△肯定的評価の高かった項目	生徒	90.5	私は、先生が指導した学校での過ごし方やルールについて理解できる。
	保護者	75.8	本校は、教員が指導した学校での過ごし方やルールについて子どもが理解している。
▼否定的評価の高かった項目	生徒	7.2	私は、学校での過ごし方やルールについて考えて行動している。
	保護者	14.3	本校は、学校での過ごし方やルールについて子どもに考えさせる指導をしている。

昨年度に比べて、肯定的な評価は微減してはいるものの、生徒も保護者も学校での過ごし方やルールについて肯定的な評価が高いということは、落ち着いた学校生活を送っていると捉えることができます。生徒自身が学校での過ごし方やルールについて、自主的に考えられるような機会を意識的に与えていただくことを期待しています。

〈学校行事について〉

		割合(%)	質問項目
△肯定的評価の高かった項目	生徒	95.8	学校行事は達成感がある。
	保護者	89.6	学校行事は、子どもにとって達成感がある。
▼否定的評価の高かった項目	生徒	5.7	先生は、生徒の意欲を大切にしている。
	保護者	11.7	本校は、子どもの意欲を大切にしている。

昨年度に引き続き、学校行事に関する肯定的な数値が非常に高い結果でした。行事の実施方法において、コロナ禍前のように生徒同士が関わり合う機会を取り戻したことが1つの大きな要因であると考えられます。一方で、生徒の「意欲」について特に保護者から否定的な評価が見られました。生徒の自主的な活動、自主性を尊重した取り組ませ方を工夫することで、この結果も改善されるのではないかでしょうか。今後の取り組みに期待いたします。

〈キャリア教育について〉

		割合(%)	質問項目
△肯定的評価の高かった項目	生徒	77.3	自分の進路や将来の仕事について、考える授業がある。
	保護者	58.9	本校は、子どもの進路や将来のことについて考える授業がある。
▼否定的評価の高かった項目	生徒	28	私は、キャリアパスポートに書いた目標について、考えて行動している。
	保護者	23.4	本校は、進路や将来の仕事に関する情報を提供している。

授業において進路や将来のことについて学習する機会をもつことができたようです。特に1年生のボランティア活動や2年生の職場体験が生徒にとって貴重な学びの場となったのではないでしょうか。プロジェクトトークは、毎年3学期に行われる所以、この評価には反映しづらいかもしれません、職業観を育てるには、良い取組だと感じます。キャリアパスポートの活用方法や進学指導に関する情報提供については今後改善の余地があります。

〈部活動について〉

		割合(%)	質問項目
△肯定的評価の高かった項目	生徒	86.5	部活動は、楽しい。
	保護者	79.2	部活動は、子どもにとって楽しい。
▼否定的評価の高かった項目	生徒	4.4	部活動は、達成感がある。
	保護者	15.6	部活動は、子どもにとって達成感がある。

生徒の部活動に対する肯定的な評価は8割を超えており意欲的に活動している様子がうかがえます。また、保護者も部活動に関して、昨年度に比べ、より肯定的な見方をしています。一方で、おおよそ1割以上の保護者が子どもの達成感について否定的な評価をしていることに注視しながら、引き続き、ご指導ください。

〈先生(教職員)について〉

		割合(%)	質問項目
△肯定的評価の高かった項目	生徒	90.4	先生たちは、生徒にていねいに指導している。
	保護者	77.5	本校は、丁寧に指導している。
▼否定的評価の高かった項目	生徒	19.5	先生たちは、生徒が相談しやすい。
	保護者	20.4	本校は、子どもや保護者が相談しやすい。

昨年度同様、総体的に先生方は生徒にていねいに指導していることがわかります。あらためて先生方の日々のご指導に感謝いたします。同時に、「相談のしやすさ」については2割程度の生徒及び保護者が否定的な評価を出しています。指導のていねいさはあるものの、相談しづらい環境にあるかもしれません。担任や部活動の顧問の先生方だけでなく、管理職やカウンセラーも窓口として気軽に相談ができるなどを知っていただくことが必要です。また、日々の信頼関係の構築はもちろん、先生方の働き方改革を進めることで、話しやすい環境、場面を少しづつ整備できると思います。地域人材も活用しながら、進めていただくことを期待します。

〈学校運営について〉

		割合(%)	質問項目
△肯定的評価の高かった項目	保護者	65	本校は、保護者に指導の重点を伝えている。
	地域	79	学校の重点目標が明確である。
▼否定的評価の高かった項目	保護者	19	本校は、保護者に指導の重点を伝えている。
	地域	10. 6	地域の意見に対して、学校はていねいに説明・対応している。

学校では指導の重点について、保護者会や行事などの機会に伝えてはいるものの、特に保護者への周知、定着については十分とは言えない状況であるようです。同時に、保護者も地域も共に「わからない」の回答を減らしていくことが重要です。公開授業や行事等で学校に足を運ぶ機会のほか、ホームページや学校だより等を効果的に活用されるなど、工夫されることを期待します。

〈広報活動・情報提供について〉

		割合(%)	質問項目
△肯定的評価の高かった項目	保護者	80. 5	本校は、様々な便りなどで、保護者に情報を提供している。
	地域	100	学校からのお知らせ(学校だより)などにより、学校の様子が分かる。
▼否定的評価の高かった項目	保護者	28. 6	「学び舎」の区立(幼稚園)小学校について情報が提供されている。
	地域	15. 8	「学び舎」の活動について、情報が提供されている。

学校からの情報提供については、保護者・地域とも肯定的な評価が得られたようです。日常的に行っている学校だよりの配布やホームページの更新の成果が表れたと考えられますが、学校からの配布物の一部を、データで配信することを進めていくなど工夫することによって、さらに肯定的な評価を得られるかもしれません。個人情報保護の観点から電子データではなく、紙で配布したものに関しても、配布した旨を保護者宛てに伝えるメッセージを配信していただけすると、家庭で確認ができ、助かります。「学び舎」に関する情報については、十分とは言えない状況です。芦花小、八幡山小とも協力し合いながら、引き続き工夫改善をお願いします。

〈地域との連携について〉

		割合(%)	質問項目
△肯定的評価の高かった項目	保護者	53. 7	本校は、地域の活動などに協力的である。
	地域	78. 9	地域の人や施設を教育活動に活かしている。
▼否定的評価の高かった項目	保護者	15. 6	本校は、地域の人や施設を教育活動に生かしている。
	地域	21. 1	学校協議会や合同学校協議会が役割を果たしている。

生徒が地域活動に参加する機会も増え、活躍する姿も多く見受けられました。地域ボランティアへの参加は、定期考查等、日程の課題を乗り越えていくことで改善されていくと思います。生徒が参加しやすいよう、地域の団体との日程調整を進めていただくとよいと思います。現在、学校が進めている、子どもも食堂や児童館との連携を始めとして、今後、さらに地域人材や施設の活用をしていただき、学校と地域の連携を図ることを期待いたします。

〈学校の安全性について〉

		割合(%)	質問項目
△肯定的評価の高かった項目	保護者	86. 2	本校は、避難訓練やセーフティ教室などで、子どもに安全に関する指導をしている。
	地域	89. 5	学校は、安全性を高めようと、地域と協力している
▼否定的評価の高かった項目	保護者	12. 6	本校は自然災害時の対応を子どもや保護者に提供している
	地域	5. 3	本校は、安全性を高めようと地域と協力している。

学校における安全指導については、保護者・地域からも肯定的な評価で8割以上の高い理解を得られています。避難訓練やセーフティ教室の他、避難所運営訓練も実施し、本校の生徒も参加しました。安全に対する意識の向上がなされた結果ではないでしょうか。学校の施設面では今年度、次年度と、工事が実施されています。生徒の安全を第一に考えながら、進めていただければと思います。

〈学校全般について〉

		割合(%)	質問項目
△肯定的評価の高かった項目	生徒	92. 5	学校生活は、楽しい。
	保護者	82. 7	本校の学校生活は、子どもにとって楽しい。
▼否定的評価の高かった項目	生徒	44. 7	「学び舎」の小学校に行ったり、小学生が来たりする機会がある。
	保護者	42. 4	子どもは、家庭で宿題や e ラーニングなどで学習している。

生徒・保護者とも8割以上の肯定的な評価が得られています。特に、生徒の9割以上が「学校生活が楽しい」と回答していることは喜ばしい結果です。引き続き、子どもが楽しく通える学校づくりを進めていただくことを期待します。保護者は本校での教育活動が子どもの成長につながっていると感じています。これは日々の教職員の努力と保護者の協力があつてこそのことです。また、課題があることも視野に入れながらも次年度以降も充実した教育活動を期待いたします。